

# 豪雨災害支援へ絵画展

## 観音寺 多彩な作品100点展示



チャリティー絵画展の展示作品について解説するボノールさん(左端)＝観音寺市柞田町、リール

観音寺市の社会福祉法人  
 ラーフ(毛利公一理事長)  
 は3日から、西日本豪雨災  
 害の復興を支援するチャリ  
 ティー企画「現代国際巨匠  
 絵画展」を同市柞田町の就  
 労継続支援A型事業所リール  
 で開催する。国内外の作  
 家の油彩や水彩、版画など  
 多彩な作品約100点を展

示するほか、フランスの印  
 象派画家アラン・ボノール  
 さん(78)を迎えてサイン会  
 を行う。5日まで。  
 ラーフ設立10周年の記念  
 行事の一環として、チャリ  
 ティー絵画展企画会社ほる  
 ぷエーアンドアイ(大阪)  
 の協力で実施する。収益金  
 の一部を復興支援や地域の

被災地支援に充てる。

2日には関係者を招いた  
 レセプションがあり、来日  
 したボノールさんは自身の  
 作品について「光をテーマ  
 に表現した。観音寺は夕日  
 などの景色が美しく、一度  
 描いてみたい」と語った。  
 出席者はボノールさんから  
 作品の紹介を受けながら、  
 交流を深めていた。

出展作品はボノールさん  
 の作品のほか、ピカソやシ  
 ャガール、東山魁夷、平山  
 郁夫らのリトグラフなど。  
 毛利理事長は「気軽に来場  
 し、作品を楽しんでほしい。  
 障害者や支援施設の活動に  
 理解を深めてもらう機会に  
 もなれば」と話している。